

理容師  
美容師の  
みなさんへ

# 適切な消毒を 行っていますか？



理容師法・美容師法により、器具の消毒方法が定められています。

血液による感染を未然に防ぐために、適切な器具の消毒を行う必要があります。

## カミソリ及び血液が付着している又はその疑いのある器具の消毒方法

下記のいずれかの消毒（3種類）を行っていただく必要があります。

### 煮沸消毒器 による消毒

沸騰してから2分以上  
煮沸します。

#### 注意点

熱に弱い材質の器具には適さない。



### エタノール による消毒

76.9%～81.4%エタノール  
液（消毒用エタノール）中に  
10分以上浸します。

#### 注意点

消毒液は汚れ、蒸発の程度により、  
7日以内に取り替える。  
揮発性が高いため、密閉容器を使用  
する。



### 次亜塩素酸 ナトリウム による消毒

0.1%次亜塩素酸ナトリウム液  
（有効塩素濃度1,000ppm）中  
に10分以上浸します。

#### 注意点

消毒液は毎日取り替える。  
金属を腐食させるため、金属製品は  
必要以上に浸さない。

#### 【参考】

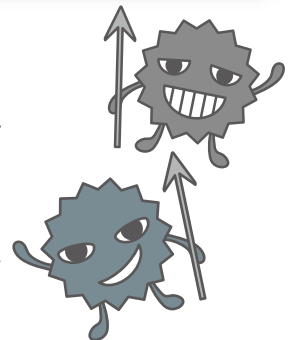
5%の塩素系薬剤  
10mlに490ml  
の水を加えれば  
1,000ppmとな  
ります。



ヒト免疫不全ウイルス（HIV）・B型肝炎ウイルス（HBV）・C型肝炎ウイルス（HCV）は、血液を媒体として感染することがあります。

もし、これらのウイルスの感染者の血液が器具を通して他のお客さんの傷口などから体内に入ると二次感染を引き起こす可能性があります。

これらは、感染後すぐに症状が出ないため、感染者本人が自覚なく第三者に感染させる危険があるウイルスですので、理容所・美容所でも消毒を徹底するなど十分な注意が必要です。



# ハサミ、くしなど血液が付着している疑いのない器具の消毒方法

血液が付着している又はその疑いのある器具と同様の方法（3種類）〈表面参照〉あるいは、下記のいずれかの消毒（7種類）を行っていただく必要があります。

## 紫外線照射による消毒

紫外線消毒器内の紫外線灯より $85\mu\text{w}/\text{cm}^2$ 以上の紫外線を連続して、20分間以上照射します。

### 注意点

2,000～3,000時間（寿命時間）で紫外線灯の取替えが必要。紫外線が当たらない部分には効果がないため、陰になる部分は位置、角度を変えて新たに照射する。（※複雑な構造のものは適さない。）



## 蒸し器などによる蒸気消毒

80℃をこえる蒸気に10分間以上触れさせます。

### 注意点

熱に弱い材質の器具には適さない。



## エタノールによる消毒

76.9%～81.4%エタノール液（消毒用エタノール）を含ませた綿もしくはガーゼで器具表面をふきます。

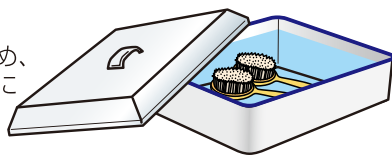


## 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

0.01%～0.1%次亜塩素酸ナトリウム液（有効塩素濃度100～1,000ppm）中に10分間以上浸します。

### 注意点

金属を腐食させるため、金属製品は必要以上に浸さない。

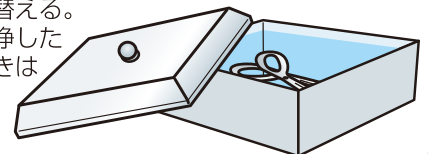


## 逆性石けん液による消毒

0.1%～0.2%逆性石けん液（塩化ベンザルコニウム又は塩化ベンゼトニウム）中に10分間以上浸します。

### 注意点

消毒液は毎日取り替える。石けん、洗剤で洗浄したものを消毒するときは十分水洗いしてから消毒する。

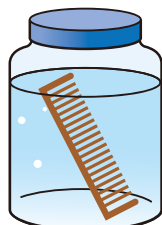


## グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒

0.05%グルコン酸クロルヘキシジン液中に10分間以上浸します。

### 注意点

消毒液は毎日取り替える。



## 両性界面活性剤による消毒

0.1%～0.2%両面活性剤液（塩酸アルキルポリアミノエチルグリシン又は塩酸アルキルジアミノエチルグリシン）中に10分間以上浸します。

### 注意点

消毒液は毎日取り替える。

